

□最近の活動状況

【第19回朝食懇談会】

— 3月7日(水) ホテル辰巳屋 —

講師 福島市史編纂室 柴田 俊彰 氏

テーマ 福島のウォール街

参加会員数 43名

○福島のウォール街

福島には、明治、大正と「商業都市の福島」という輝かしい歴史があります。その歴史を解明するために、どうしても金融史、特に銀行の歩みが必要であり、銀行の資料等で調べ整理しまとめました。本日は、明治にスポットを当ててお話しします。

「福島のウォール街」という言葉は、私が命名したわけではありません。かつて福島の歴史に詳しく大村三良先生が、大町のメインストリートに、銀行、商工会議所、保険会社、証券会社などが軒を連ねていたことから「福島のウォール街」という言葉を用いています。江戸時代にさかのぼって調べてみても、大町周辺は福島藩を支えた豪商が並んでおり、福島経済の中心だったということが分かります。

○きっかけは甚兵衛火事

明治14年、福島町の約8割が焼失した甚兵衛火事という大火災がありました。当時の県知事あての被害報告に「銀行は全部焼けたが、第六銀行にあった官金は無事」、焼けた建物について「寺8カ所、銀行6カ所うち支店3カ所」とあり、私が認識していた銀行の数と合わなかったことが詳細に調べるきっかけとなりました。

○銀行開設と進出の事由

江戸時代、信達地方は蚕糸業が非常に発達していました。全国有数の生糸産地として栄え京都との取引も活発に行われていました。横浜港開港後は海外に輸出されるようになり、福島の生糸生産量は我が国全体の約20%を占めていました。このような背景から生糸商人は荷為替業務を中心とした商業金融機関を必要としました。

ここからは、福島町(市)に開設された銀行と進出した銀行について、4つの時期に分けて説明します。

①甚兵衛火事以前(明治14年(1881)以前)

明治5年国立銀行条例公布後、明治9年に改正が行わ

右 講師 柴田俊彰 氏
下 講演会場風景



れ大幅に条件が緩和され、県内で最初に出来たのが第六国立銀行です。たぶん東北地方で初めての銀行だと思います。明治10年3月開業しています。資本金は10万円、福島町商人の出資が多く、なぜか、福沢諭吉が5株持っていたという記録があります。

次いで福島町に設立された銀行が、第七国立銀行です。明治11年10月開業しています。資本金が10万円、株主の多くは福島町周辺の豪農でした。旧第七銀行の豊田町派出所は、唯一、福島の金融史の中で今も現存している建物で、今後も残って欲しいと願っています。

また、開設銀行としては福島銀行が明治13年に資本金7万円で創設されています。

福島に進出してきた銀行としては、第一国立銀行が最初です。明治9年に出張所は設けず、生糸荷為替業務を行う時期だけ臨時的に出張してきました。

もう一つが第八国立銀行で、明治13年8月に出張所を設けています。

②甚兵衛火事以後から明治20年(1887)まで

明治14年の甚兵衛火事で大半の生糸問屋や銀行も焼失し福島は大不況になりました。商店の倒産や破産が相次ぎ銀行の不況は明治20年まで続いたと言われています。このため、県外の有力銀行が県内各地に進出してきました。

明治15年10月に第百国立銀行が福島出張所を開設しています。

それから、明治16年3月に東北地方で初めて安田銀行が福島に出張所を設けました。この背景には三井・三菱等先進諸行と対抗する上で、未開拓の東北の地に出店したのではないかとされています。

他には、明治16年横浜正金銀行福島出張所、明治18年第六十国立銀行福島支店、明治20年三井銀行福島出張店、それから久次米(くじめ)銀行、高知県の銀行が福島出張所を明治20年頃開設しています。

③明治20年代

～共同生糸荷造所開設と地元銀行開設～

福島の生糸商が中心となり、明治22年に福島共同生糸荷造所が設立され、生糸の品質向上と金融円滑化に重要な役割を果たしました。この共同生糸荷造所員等が、生糸取引へ資金提供することを目的に明治29年福島商業銀行を設立しています。

また、明治26年横浜若尾銀行が神奈川県に設立されたと同時に福島に支店を設けています。

④明治30年(1897)から明治末

～日本銀行福島出張所開設と新たな銀行～

明治31年6月に農工銀行法により福島県農工銀行が設立されました。

そして、明治32年7月、地元の熱心な誘致活動もあ

り日本銀行が東北初(全国8番目)の店舗として福島出張所を開設しました。日本銀行福島支店の「福島県金融経済の歩み」によると、明治32年5月に奥羽南線福島米沢間が開通したことで「福島が東北の二大鉄道の集点点として交通運搬の要衝であったこと」「生糸は当時我が国の輸出品で最も重要なものであり、福島は我が国における有数の生糸生産地域であったこと」などが出張所の開設事由として書かれています。

さらに、明治45年に岩代銀行が設立されています。

明治、東北経済の中心地として隆盛を見た福島に地元銀行がどう開設されたか、県外からどんな銀行が進出してきたかを時代背景と共にお話しました。ご清聴どうもありがとうございました。

(文責：事務局)

【第31回全国経済同友会セミナー】

— 4月19日(木)～20日(金)宇都宮市 —

全国経済同友会セミナーが4月19日と20日の2日間、宇都宮市にて開催されました。今年の総合テーマは「次世代につなげる輝く日本を目指して～明るく希望に満ちた社会の構築～」と題し、全国の経済同友会から約1,000名の会員・関係者が参加、当会からは高橋代表幹事、阿部代表幹事を始め7名が出席しました。



会場風景

□事務局だより

○6月28日の通常総会において次の通り決定しましたのでお知らせいたします。

福島経済同友会 2018・2019年度 役員(敬称略、50音順)

代表幹事(筆頭)	高橋 雅行	(株)福島民報社 代表取締役社長	常任幹事	坪井 大雄	福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長
代表幹事	阿部 隆彦	(一財)とうほう地域総合研究所 理事長	"	新田 良一	(株)テレビユー福島 代表取締役社長
副代表幹事	加藤 容啓	(株)福島銀行 取締役社長	"	林 由美子	タカラ印刷(株) 取締役会長
"	北村 清士	(株)東邦銀行 取締役頭取	"	村田 文雄	福島県信用保証協会 会長
"	五阿弥 宏安	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	"	渡邊 和裕	(株)山水荘 代表取締役社長
"	博多 義雄	朝日システム(株) 代表取締役社長	会計監事	大村 雅恵	大和自動車交通(株) 代表取締役社長
"	樋口 郁雄	福島信用金庫 理事長	"	長谷川登喜雄	(株)ハセガワーク 代表取締役
"	森 洋一	福島テレビ(株) 代表取締役社長	幹事	瓜生 利典	(株)エフコム 代表取締役社長
"	渡邊 博美	福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長	"	紺野 道昭	(株)こんの 代表取締役社長
常任幹事	蒲倉 達也	福島リコピー(株) 代表取締役社長	"	佐藤 勝也	佐藤工業(株) 代表取締役社長
"	川瀬 成人	(株)川瀬酒販 代表取締役	"	鈴木 宏幸	(株)杜設計 代表取締役
"	菅野 日出喜	菅野建設(株) 代表取締役	"	須藤 英穂	(株)東邦銀行 常務取締役本店営業部長
"	齋藤 高紀	こころネット(株) 代表取締役社長	"	立花 志明	(株)山川印刷所 代表取締役社長
"	三枝 通晃	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長	"	三浦 康伸	東開クレテック(株) 代表取締役社長
"	佐久間 信幸	(株)日進堂印刷所 代表取締役社長	事務局長	渡辺 光則	(一財)とうほう地域総合研究所 常務理事
"	佐藤 健介	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長			

○2018年4月から6月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

会員交代		2018年4月交代 なかお まさき 中尾 誠樹 東京海上日動火災保険(株)福島支店 支店長		2018年4月交代 いのしま みつのり 猪島 光典 SMBC日興証券(株)福島支店 支店長
		2018年4月交代 わたべ ともかず 渡部 友和 大和証券(株)福島支店 支店長		2018年4月交代 ともだ ひさや 友田 久也 (株)みずほ銀行福島支店 支店長
		2018年5月交代 すずき ひろあき 鈴木 廣明 (株)クラシマ 代表取締役社長		2018年6月交代 たちばな むねあき 立花 志明 (株)山川印刷所 代表取締役社長
		2018年6月交代 かとう たかひろ 加藤 容啓 (株)福島銀行 取締役社長		2018年6月交代 ちば よしひさ 千葉 純久 とうほう証券(株) 代表取締役社長
		2018年6月交代 おぐら のりお 小倉 憲夫 日本全業工業(株) 取締役副社長		2018年6月交代 にitta りょういち 新田 良一 (株)レビュー福島 代表取締役社長
		2018年6月交代 もり よういち 森 洋一 福島テレビ(株) 代表取締役社長		2018年6月交代 えなみ つねお 江波 恒夫 東北電力(株) 執行役員福島支店長
		2018年6月交代 なかやま こう 中山 興 日本銀行福島支店 支店長		2018年6月交代 くろつ たかし 黒津 孝 (株)福島丸公 取締役社長

●退会

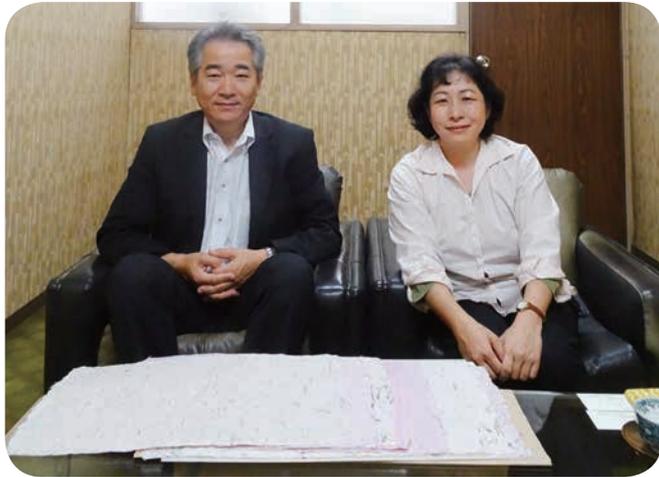
多勢 弘之 (株)タカムラ 代表取締役社長
江藤 祐二 三井住友海上あいおい生命保険(株) 福島生保支社長
引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(2018年6月22日現在 会員数94名)

編集日誌

- ◇最近よく耳にする「eスポーツ」。先日発表された、日経MJ2018年上期ヒット商品番付では西の関脇に入っていました。
- ◇eスポーツ(エレクトロニック・スポーツ)とは、コンピューターゲームを用いた対戦をスポーツ競技として捉える際の名称で、オリンピックでの採用を目指す動きも始まっています。
- ◇総務省が公表した報告書によると、2017年のeスポーツの海外市場規模は700億円を超えており、今後オリンピック種目への追加が議論される中で認知度が高まり、さらに市場が拡大すると予測されています。
- ◇「ゲームばかりやってないで勉強なさい!!」と子どもの頃よく親に言われました。ゲームがオリンピック種目になるとは…時代の変化を痛感しています。(今野)

□会員企業紹介 【第19回 株式会社三和紙店】

今回は株式会社三和紙店の吉田社長にインタビューしました。6月に南相馬市で開かれた全国植樹祭の招待状に採用された「福咲和紙」の開発について、プロジェクトリーダーを務めている小野副社長様も一緒にお話をお聞きしました。



吉田社長(左)、小野副社長(右)

○“フルーツ王国ふくしま”を支え続けて80年

1934年に創業した当社は、印刷・情報用紙、色紙、板紙、家庭用紙など多種多様な紙製品全般を取り扱う紙卸売業者です。2014年に新しい一括管理システムを導入したことにより迅速でスムーズなサービスが可能となりました。

また、農業用資材の取り扱いが大きいことも特徴の一つです。福島は、モモ、ブドウ、ナシ、リンゴなど果樹栽培の盛んなフルーツ王国ですので、出荷用の包装資材や果実用ネット、栽培用の果実袋などの仕入れ販売を行っています。元来、紙は神聖なものとして、同じく神聖で邪気を払うと言い伝えられている果物も紙によって包装されてきましたので、今でも贈答用などの高級品には紙が使用されています。

○桃の木から生まれた和紙

近年、紙類のニーズはパソコン等の普及により減少傾向にあり、新たな付加価値を持つ製品の開発が求められてきました。

そこで、全国でも有名な福島の果物に着目しました。「剪定作業で廃棄される枝や幹がもったいない。紙は木からできているのだから、果樹から紙ができないだろうか」という想いから果樹を使った和紙作り「咲色SAKIIRO」プロジェクトは始まりました。福島の代表果物であるモモの枝は硬くて扱いにくく開発は難航しま

したが、福島県鮫川村の手すき和紙職人と山梨県の機械すき和紙工場の技術者の手によって、ほのかにモモを感じさせる淡い風合いの優しい和紙に生まれ変わることができました。

多くの方の手に支えられ生まれたこの和紙に、福島の果物の魅力を伝え、和紙を使う人に笑顔を咲かせたいとの思いを込めて「福咲和紙」と名付けました。また、試行錯誤を繰り返し完成した開発成果を保護したいと考え特許を出願しました。

6月に開催された第69回全国植樹祭の招待状用紙に福咲和紙を使用していただいたおかげで、各方面からうれしい反響が届いています。今後、モモ以外でナシやリンゴなどほかの地元産果物を利用した和紙作りに挑戦し、行政機関とも連携して“フルーツ王国ふくしま”の魅力発信につながればと考えています。

○古き良きものを新しき時代へ

今、6次産業化に日本の農業復活の期待が高まっています。廃棄されていた剪定枝を使って作られる福咲和紙は、自然に優しいエコな素材です。果樹農業にとって新たな切り口の6次産業化のビジネスモデルとして確立できるように、自由な発想で「咲色SAKIIRO」の世界を広げていきたいと考えています。

紙は、日常生活において様々なシーンで登場する身近な存在であり、用途によって自在に形を変えることができる可能性を秘めています。これからも「温故知新」の心を忘れず、いつまでも色あせることなく、新しいことにチャレンジし、お客様が満足できる紙製品を卸して参りたいと思います。



住 所 〒960-8063
福島市柳町3-30
設 立 昭和21年11月13日
従業員数 14名
T E L 024-523-1311
U R L <http://snw3.co.jp/>